

設計・建設および維持管理・運営業務を一括に発注するDBO方式で契約を締結し、契約締結後に進めてきた実施設計で各年度の具体的な出来高の予定額を算出できたことから、年割額を変更する。

#### 議案第29号

### 令和8年度一般会計予算

初雁自由政令会 | 公明党 | 川越未来の会 | 無党派 | 川越志政会  
政策フォーラム | 日本共産党

#### 討論あり

**問** 令和8年度予算の特徴は。

**答** 令和8年度一般会計予算は、教育環境の充実をはじめ、子育て支援などの福祉施策、都市基盤の整備、DXの推進等への重点的な予算の配分に努めたところであり、その予算規模は、前年度比約49億9千万円増の1438億5千万円となり、過去最大の予算規模となった。

**問** 令和7年3月議会で強く要望した特別養護老人ホームの大規模修繕補助事業に1億900万円の予算が計上されたが、この1年間どのような検討をしてきたのか。

**答** 全国の中核市に補助事業の照会を行い、県内の政令市・中核市に聞き取りを行うとともに、補助対象となる広域型の特別養護老人ホームに訪問や電話によるヒアリングを行い、老朽化の現状を確認した。これらの情報を基に、大規模修繕補助事業の対象となる工事の内容や、施設の建築年数といった補助基準の検討を行い、現在、補助要綱などの作成を検討している。

**問** 財政調整基金が大きく減るが災害対応に問題ないのか。

**答** 不測の事態に対応するためには財政調整基金残高が十分でない状況が続いていると認識しており、引き続き行財政改革の取り組みを進めるとともに、より実効性を高める予算編成手法等について検討を進めていく。

**問** 学校給食費無償化の今後の財源確保策は。

**答** 小学校の給食費無償化については令和8年度以降に国が責任を持って財源確保を図ること、中学校についても課題を整理した上で検討することが示されていることから、国の動向を注視しながら必要な財源を確保していく。

**問** 次期男女共同参画基本計画に追加された取り組みは。

**答** 困難な問題を抱える女性への支援を主要課題として加え、困難な問題を抱える人への支援の充実に向けて、民間団体の育成、関係機関との連携強化に取り組む。

**問** 雇用や所得の改善等が続く一方、物価高で生活が苦しい人も増えている。市はどう分析し予算に反映したのか。

**答** 生活が豊かになったと実感する市民は限定的ではないかと考えられることから、速やかに物価高対策を講じつつ、令和8年度は地域防犯カメラ設置費補助など地域生活を支える事業を予算に反映させた。

**問** 新規事業の総額は。

**答** 予算の概要に掲載している主要事業では、開庁時間の見直しなど40事業で総額約44億3千万円である。

**問** アクションプランの取り組みによって見直した事業は。

**答** 令和7年度に見直した事業は、川越市民間保育所補助金、重度心身障害者医療費支給事業などである。

**問** 学校給食費の無償化など経常的支出の増に対し、将来世代の負担への影響をどのように統制していくのか。

**答** 予算全体のバランスを保ちつつ、積極的な歳入の確保や事務事業の見直しで経常経費の抑制・削減に努める。

**問** 宮本副市長から見て令和8年度予算を一言で言い表すと何予算か。

**答** 新たな行政需要に対応しこれまでの行政水準の維持に配慮した、変革の時代に対応した子育て重点予算である。

**問** 市長が市民の所得を増やす前に、今議会では手数料や下水道使用料、国保税の引き上げが提案され市民の負担が増えているが、宮本副市長の考えは。

**答** 持続可能な財政運営を行うために必要な行政コストの負担をお願いせざるを得ないが、所得を増やす取り組みについては、さまざまな施策を継続して展開していく。

**問** 戦争や紛争が多発する昨今、国では軍事予算の大幅な拡大が進んでいるが、平和の実現への市長の考えは。

**答** 平和を願う心を地域から育み次世代へつないでいくことは、自治体にできる重要な使命である。武力に頼ることのない平和の実現に向け、平和の尊さを発信していく。

**問** 不登校の児童・生徒への学習環境を確保する支援は。

**答** 校内学習室の全校設置に加え、自宅等からオンラインで学校の授業につなげることやメタバース上で登校・学習することができるよう、学びたいと思ったときにいつでも学べる環境を用意している。

#### 議案第33号

### 令和8年度介護保険事業特別会計予算

日本共産党

**問** 第9期の介護サービスの基盤整備の状況は。

**答** 既存の特別養護老人ホームの増床や、介護保険が利用できる有料老人ホームの整備など、複合的な基盤整備を進めている。

**問** 介護保険保険給付費等準備基金を活用して、介護保険料を引き下げることについて、市の考えは。

**答** 要介護・要支援認定者数の増加、介護報酬の増額改定等により、引き下げは困難と見込まれるが、川越市介護保険事業計画等審議会での審議を経て、介護保険保険給付費等準備基金を活用し、保険料の上昇抑制を図りたいと考えている。